



「医療専攻」便り

三条東高等学校 Vol. 3 (平成29年1月24日)

【2学期の主な活動】

●医療専攻講演会③ 9月8日(木) 16:00~17:00

新潟県看護協会常務理事の星野洋子様をお迎えして、『看護師のキャリア形成』というテーマでご講演をいただきました。高齢化と人口推計に基づく、医療と介護の将来像についてのお話や、医療福祉関係の職種・資格や看護師免許の取得方法、日本看護協会の認定制度など、



医療職につくための具体的な道筋などをお話いただきました。先生は、キャリアをデザインするという事は、「自分の人生の過ごし方」を決めることであり、人生の節目節目にデザインすることの重要性を強調されていました。

最後に自分のキャリアを描くために「自分探し」⇔「強み探し」のワーク活動をしました。とてもパワフルで熱い講演会となりました。

●医療専攻講演会④ 9月30日(金) 12:45~14:15

新潟青陵大学准教授の柄澤清美先生より、『地域包括ケアシステムについて』という演題で、ご講演をいただきました。

現代の医療は、従来の治癒・救命という“病院で治す医療”から、機能改善・人生支援という“地域で支える医療”に転換してきています。それに伴い、健康の担い手も医療の専門職だけでなく、自分自身による自助、ボランティアや住民活動による互助に広がり、退院支援・退院後の在宅医療や介護との連携が重要になっていきます。「してあげるケア」から脱却し、患者自身や非専門職とも力を合わせた「暮らしに戻れるケア」が、地域包括ケア時代の医療専門職の役割であることなどを丁寧に説明していただきました。



最後にグループワークを行いどんな医療専門職をめざすか、自分の考えをまとめ、グループ内で意見交換し、それを発表しました。とても有意義な講演会となりました。



●医療専攻講演会⑤ 10月27日(木) 16:00~17:00

『現在の看護・医療が抱える問題』と題して、新潟県立看護大学教授の石田和子先生より、がん医療やその看護を取り巻く現状などについてご講演をいただきました。



寿命が伸びる中、がん患者も比例して増えていることや、医療の進歩によって死の病から、長期間戦い続けていく病気に変わってきたことを教えていただきました。その中で、がん患者は、がんの進行や再発などの不安を抱えながら日々の療養を続けているので、単に治療するだけでなく、いかに患者をサポートし、患者の不安を取り除いていくかなど、がんに負けない社会づくりをめざすことが大切であると話されました。がんを患っても、仕事を失わずがんと向き合えるような就労支援など、患者が安心して暮らせるような社会の構築が望まれています。

●病院見学③ 12月2日(金) PM

2学期の期末考査後に、4グループに分かれて下記の病院の見学をしてきました。実際の医療現場を体感することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

《三条総合病院(8名)》



《三条東病院(20名)》



《県立吉田病院(8名)》



《富永草野病院(4名)》



※12月16日(金) 16:00~17:00

2年次の本格実施を前に1年生の医療専攻希望者17名が、新潟県福祉保健部参与の荒川正昭先生をお迎えし、「医療従事者の心構え」と題して、第1回目の講演会を実施しました。

【医療専攻発表会に向けて】

3月27日(月)に、1年間学んできた事柄をグループごとに発表する医療専攻発表会を実施します。現在、その発表会に向けてグループごとに発表のテーマや内容の整理、パーポイントによる資料作りを始めました。